

## 10月に4年ぶりの海外視察事業

AAP

アジア・アパレルものづくりネットワーク（AAP）は、先月二十六日、都内で二〇二三年度通常総会を開催した。十三年度の今年度は、従来通り「スタディーミーティングとアパレル業界交流会を行う」とともに、来年二月に「AAP2024展示会」を開く。コロナ禍で見送ってきた海外視察ミッションを再開し、十月十六～二十一日にベトナム北部・中部の縫製工場

を視察する。

また、任期満了に伴う役員改選を行い、代表理事の小島正憲、常川雅通の両氏をはじめ、理事の岩井一男、宮崎守、政井一哉の三氏を再任、新理事として古島一男氏を選出した。監事の饗島美家雄氏も再任となった。

総会後の第七十一回例会ではスタディーミーティングとして浅野撚糸の浅野雅巳社長が「ナンバードワンよりオンリーワンを目指す——『エアーカーおる』誕生から双葉町進出へ」をテーマに講演した。同社は東日本大震災

による原発事故の被害を受けた福島県双葉町に工場進出し、四月二十二日に特殊撚糸「スーパーゼロ」の撚糸工場を中心とした拠点「フタバスーパーゼロミル」が完工したばかり。浅野社長は倒産の危機に直面したが、世界唯一無二の技術、最終製品化、ブランドの立ち上げで下請けから脱却してきたと説明。「国も繊維は成長産業と位置づけ、主幹産業に戻すと宣言している。日本人としての自信を取り戻すことが、繊維産業復活の大きな基になる」と語った。